

湘南日独協会 特別例会 ご案内

湘南日独協会 創立5周年記念

名作バレエ

クルミ割り人形

夏のドイツフェアで特別出演し、好評を博した乃羽バレエ団が、湘南エールアンサンブルの生演奏で公演します。わが湘南日独協会の混声合唱団「アムゼル」も出演します。湘南日独協会創立5周年の記念すべき催しですから、どうぞご家族やお友達を誘ってご参加下さい。

出演 乃羽バレエ団（主宰：乃羽ひとみ）

湘南エールアンサンブル（指揮：中島良能）

合唱団「アムゼル」（指揮：梶井智子）

日時 12月20日（土）午後4時開演。3時30分開場。

会場 藤沢市民会館大ホール（藤沢駅・徒歩8分）

会費 会員・一般 共に 3,000円

湘南日独協会 創立5周年 記念 祝賀会

バレエ「クルミ割り人形」終了後、午後6時30分より藤沢市民会館第1展示集会ホールにおきまして打ち上げと忘年会を兼ね、会員及び来賓・関係者により祝賀会を開催します。各種ドイツ関連商品の展示も予定されています。貴殿のご参加を期待しています。

会費 会員・同伴者 共に 4,000円

当日はお申し込みにより、別途お送りするチケットをご持参下さい

〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F
湘南日独協会事務局 TEL0466-26-3028

湘南日独協会 2003-4 年度活動予定

■ 12月20日（土） 16:00～18:00

湘南日独協会創立5周年記念

《バレエ特別公演》

クルミ割り人形

会場 藤沢市民会館大ホール

出演 乃羽バレエ団（主宰：乃羽ひとみ）

湘南エールアンサンブル（指揮：中島良能）

湘南日独協会 混声合唱団 「アムゼル」

■ 12月20日（土） 18:30～20:30

湘南日独協会創立5周年記念 祝賀会

……………2004年……………

■ 1月24日（土） 第31回例会

講演会 「モーツァルトを聴いて健康になる秘密」

講師 中島良能氏（指揮者）

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

※例会終了後、定例総会を行います。

■ 2月28日（土） 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

■ 3月27日（土） 第32回例会

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fロータスホール

■ 4月24日（土） 会員懇話会 18:00～

会場 ホテル法華クラブ藤沢2Fローズルーム

湘南日独協会会報 (Der Wind)

VOL 5. NO. 6. 通巻30. 発行 2003. 11. 22.

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局：〒251-0055 藤沢市南藤沢8-9 中丸ビル2F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

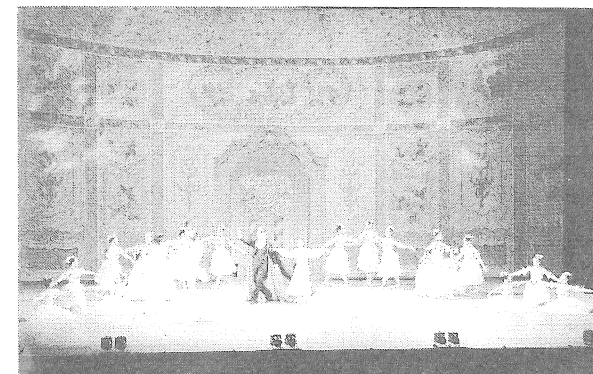
No. 30.

湘南日独協会 会報

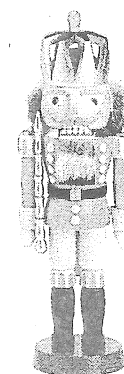
Der Wind

(風)

湘南日独協会創立5周年
記念事業にご参加下さい！



バレエ「クルミ割り人形」の1シーン



創立5周年記念祝賀会ではドイツ関連商品の展示が行われます。お楽しみに！

- ドイツ車：BMW、メルセデスベンツ
- ドイツワイン：ヤマオカザン
- 東京ドイツ村：入場優待券
- ドイツ観光局：パンフレット
- ドイツパン
- 快適で優しい「ベアーのブーツ」
- 湘南ビール
- などなど……

バレエ「クルミ割り人形」公演に寄せて

クルミを割る人形のメルヘン

会員 宮下啓三

★『クルミ割り人形』とドイツの関係

今日は若い人たちにメッセージを捧げます。皆様それぞれ少年少女に戻ったお気持ちでお付き合いいただければ幸いです。まず自分が子供にかえったつもりで、子供が発しそうな疑問を九つ用意してきました。その順序にしたがって話を進めていきます。

まず第一に『クルミ割り人形』はロシアの作曲家チャイコフスキーが今から一〇二年前に作曲した作品なのに、なぜ湘南日独協会がバレエ公演を主催するのか、ということです。どこにドイツとの関係があるのでしょうか。

このバレエの筋書きを簡単に申し上げますと、舞台はドイツの町。シュタールバウムさんという裕福な家庭でのクリスマスの物語です。クリスマスイブに、ドロッセルマイヤーという少々変わったおじさんが持って来たのがクルミ割り人形でした。

クルミ割り人形というのはその名の通り、クルミの硬い殻を割って中の実を取り出すための道具です。本来は木製で、あごのところにクルミを挟み込み、テコの原理で割ります。兵隊の姿をしているのが伝統ですが、大きな顎を持っているため醜い顔が特徴です。ですから、やんちゃ坊主のフリッツという少年がクルミ割り人形をバカにして、投げ落として壊してしまいます。それを見たマリーという少女が同情していたわ。これがバレエ『クルミ割り人形』の前半部分の筋立てになります。といってもクルミ割り人形のバレエにはいくつかのバージョンがあり、マリーは、あるバージョンではクララとなり、ロシアではマーシャになります。今度の12月に行われるのはどのバージョンなのか、ぜひ当日の配役表で確かめていただきたいと思います。



物語の内容はドイツ人家庭のクリスマス風景なのですが、それもその筈、このバレエの原作者はドイツ人作家ホフマンであったからです。ホフマンはこの作品を親しい友人の子供のために作りました。しかし単に子供向けの話と受け取らずに、大人も楽しめると思ったのが、フランスの大作家アレクサンドル・デュマでした。この物語をたいそう気に入って、フランス語で書き直しました。これがチャイコフスキーに渡り、バレエ『クルミ割り人形』が生まれました。

というわけで子供と大人が共通に楽しめる物語。同時にドイツ、フランス、ロシアと国際的な広がりを持つ作品となりました。これで乃羽バレエ団の『クルミ割り人形』を湘南日独協会が主催する立派な理由があるということになります。

★クルミとクルミ割り人形

では第二の質問。人形にもいろいろあるのに、なぜクリスマスプレゼントにクルミ割り人形が与えられたのか。クルミに特別な意味があるのでしょうか。

クルミの木材は非常に堅いので、高級家具の材料として珍重されています。葉は香りが良いのでお茶にして飲んだり、入浴剤に使います。殻は丸いままで子供の遊び道具になったり、老人たちは二つ握って手の運動をします。もちろん実はおいしくて、栄養分がたっぷりです。無駄なところがまったくなく、ドイツ人が好意を持ち、親しみを覚えるのは当然です。

したがって民俗・風習の中にもクルミは登場しま

す。ライン河の流域ではクルミの小枝を編み込んだ花輪をドアに下げ、雷よけのおまじないにする習慣があります。南ドイツやオーストリア地方では、クルミの実をたくさん食べると子宝に恵まれると言い伝えられています。さらに未婚の女性が棒きれを放り上げてクルミの木の枝にひっかかると、近く結婚相手が見つかる、という占いもあります。バレエの後半でクルミ割り人形がハンサムな王子に変身して、少女をメルヘンの国へ案内します。つまり未来の結婚相手を連想させる男性になるという点で、クルミの民俗的な意味と重なってきます。

第三の質問に移ります。一体、クルミ割り人形とはどのようなものなのか。いつ、どこで生まれたのか。

少し難しい話になりますが、中世キリスト教会の支配が終わり近世へと移る頃、封建時代が終わり、市民は自由になって力をつけるようになりました。都市では職人芸が発達し、物を飾る棚が流行し始めます。その飾り棚の第一の生産地として有名だったのがドイツ南方のニュルンベルクです。同じく南方のアウクスブルクやウルムでも、家具に使った木材の余りで人形が作られるようになり、伝統的な木製人形の生産地となりました。

『クルミ割り人形』の物語には、美しいしゃれた人形たちが登場します。ニュルンベルクとアウクスブルクで特に多く作られた兵隊姿のゼンマイ仕掛けの人形は、フランスに輸出され、フランスの宮廷でたいへんな人気を得ました。ルイー四世とその息子のコルベールは、ドイツの兵隊人形コレクションに夢中になったそうです。それらがいつしか銀で作られるようになり、たいへん高価なものに変わっていきます。『クルミ割り人形』の中で人形たちが戦争をしますが、スマートで洗練された兵隊人形たちを、醜いクルミ割り人形が指揮します。田舎まるだしの人形が都会の人形たちを指揮して、ネズミたちを退治するということところに一種の皮肉が込められているようです。

【10/27 第29回例会講演の抄録です】